

学年レク第1弾!!

今年はもう梅雨に入りました。例年より3週間ほど早い梅雨入りになったみたいで、総体に向けてラストスパート、というタイミングと重なりました。しかし、この状況は、笹原中学校だけではなく、伊丹市全中学校にあてはまることで、平等です。

ここから期末テスト1週間前までの日を、「雨だからできない」と考えることもできるし、「雨だからこそ、できることがある」と考えることもできます。せっかく練習するなら、どちらの考えで取り組むほうが、自分たちにとってプラスになるでしょう?!

さあ、ここからテスト1週間前まであと1週間ちょっと、悔いを残すことなく、みんなで“青春”をしてください。

本来であれば、5月21日(金)から5月23日(日)まで、修学旅行に行っているはずでした。その修学旅行でのプログラムであった、“**学年レク大会**”を5月28日(金)の6時間目に実施しました。

出演者は、

- ① **15Number** (筒井さん、森さん、山岸さん、松村優奈さん、梅本さん、鎌田さん、佐藤さん、笹倉さん、平野さん、桃原さん)
- ② **KKK** (笹田くん、浦井さん、今井さん)
- ③ **チームええ感じ** (川本くん、佐藤さん、徳田くん、岡本さん、松村慎くん、山下さん、岡村くん、森山さん)
- ④ **Baby Person** (金森くん、笹倉さん、中越くん、桃原さん、河村くん、森さん、吉川くん、河野さん)

出演者の人たちは、開催が決定してから本番に向けて、朝練習や昼休みの練習、時には放課後に一生懸命に練習している姿がありました。その姿を見ていて、“**本気**”の気持ちがひしひしと感じられました。更に良かったことは、よく言っている“**準備**”の大切さをしっかり理解し、取り組んでいたことです。

そして、先生方がとても楽しんで一緒に取り組んでいたことも、その場を盛り上げる材料になりました。

9月に延期となった“修学旅行”では、更にバージョンアップした“学年レク大会”ができることを確信しました。

次の本番に向けて新たな出演者も募集する予定です。今回で興味を持った人たちは、是非立候補してください。そして、今日よりも盛り上がる時間を、みんなでつくりましょう。

運営をしてくれた保体委員の感想と、修学旅行での学年レクの参加の呼びかけを紹介します。

1組 笹倉 千裕

今回の学年レクは今までよりも忙しかったです。なぜなら、朝早く集まって打ち合わせをするのが2週間続いた、学年レク本番の時間が足りない!でも、最後まで楽しくしたい、という思いからいろんなものを削ったからです。特に、イントロクイズは3問ありましたが、1問しかできませんでした。でも、みんながクイズの時に笑っている顔を見て、とてもホッとしました。

感想はこれくらいで、次は学年レクの募集です!

たくさんおもしろしてくれる人たちがいるので、自分の周りを楽しませるだけでなく、学年を楽しませんか?絶対に盛り上がると思います!たくさん、たくさん応募してください。

3組 森 咲蘭子

私は、今回学年レクで、この学年のために何か働けることは、とても楽しく、やりがいがあると、とても感じました。

保体委員になり、たくさん会議をし、大変なこともありましたが、その結果学年が盛り上がってくれるからだと思います。

難しいことがあっても協力してくれた保体委員、先生方には、とても感謝しています。責任を持って行動すること、企画すること、これら全てをこれからの行事に活かしていき、この学年を盛り上げていけるよう頑張ります。

9月の学年レクの参加者をバンバン募集します!人生に一度しかないかもしれない、思い出作りの1つです!是非参加して下さい!

1組 河野実咲紀

今回の学年レクで私が運営する側として、やってみた時に感じたことは2つです。

1つ目は、運営することの難しさです。なぜなら、何回も集まって練習したり、リハーサルをしても本番は思い通りにはいかず、失敗してしまうことも多かったからです。

2つ目は、達成感です。なぜなら、運営することは難しいし、失敗もいっぱいしました。でも、私の中では「楽しい学年レク」で終わっているし、時間が予定通りもらえなかった時に、保体委員で考えて、リハーサルではしていないこともすることができたからです。また、みんなが「楽しかった」と言ってくれたからです。

修学旅行の学年レクをもっと楽しいものにするために、たくさんの人に出てほしいです!!

楽しい時間を共有できて、とても良かったです。

1学期も早6月になります。残り約40日くらいの学校生活を充実させるために、もう一度、しっかり自分の足元を見つめ、整えていきましょう。

具体的には、朝の登校です。

みんなは、登校時間の8:15にゆとりをもって、登校することができていますか?1日を充実させるための材料になります。もう一度、見直しましょう。

満足できない自分を誇れ
足りないところに気をつけろ
貴方はきっと飛べるはず
今より高く
飛べるはず

